岩手医科大学報

Iwate Medical University News

2009・10　vol.400

●発行者―学長　小川 彰　●題字―理事長　大堀 勉

岩手医科大学報発刊400号記念（関連記事P1～P5）

おもな内容

●― 巻頭言／岩手医科大学報発刊400号、発刊50周年を祝う　理事長　大堀　　勉
●― 特　集／発刊400号記念特集
●― 連　載／当院認定看護師の紹介(6)　皮膚・排泄ケア認定看護師　千葉　励子
●― 平成22年度入学試験日程
●― すこやかスポット歯学講座　No.10　「虫歯で子供を泣かさない」

巻　頭　言

岩手医科大学報発刊400号、発刊50周年を祝う

理事長　大　堀　　勉

岩手医科大学報の発刊400号と発刊50周年を、全職員とともに祝い、併せて第２のステップとして今後学報のさらなる充実と、一層の医大発展を念願する。

昭和34年６月５日、岩手医大月報第１号が発刊された。（その前までは毎月「学内月報」としてガリ版刷りの数頁に記載され66号に達している。）当初は、篠田 糺先生（理事長・学長）が「毎月一言」というタイトルで毎月執筆されるなど、企画課で編集・発行されてはいたが、殆ど篠田先生の情熱で続けられたといっても過言ではない。昭和57年、先生が理事長をご退任後は、しばしば発行されないことがあった。

平成４年に至り、会報の重要性を考え小生が発行に加わることとし、304号からとりあえず毎月ではないために「岩手医科大学報」と名称変更、同時に横書き版とした。

さらに、平成11年４月341号からは「学報編集委員会」を立ち上げ、サイズを A4 版に変更、３ヶ月に１度の発行とした。また、平成13年４月349号からは２ヶ月に１度（偶数月）の発行とし現在に至っている。また近日中から、学報のニュース性を重んじ、発行当初よりの念願であった「毎月発行」とする予定である。これらのことは企画課及び編集委員の方々の大きな情熱によるものであり、謝意を表する次第である。

さて、篠田 糺先生の本誌**「発刊のことば」**（昭和34年６月５日）は、本誌の発展、大学の発展のための方向性を示された名文で、本誌304号、341号に引用させていただいたが、記念すべき発刊400号、発刊50周年のときにあたり、**もう一度熟読含味し**、新しい出発をしたいと考えている。そのための第１番目は、約2,300人の職員各位より積極的な建設的な投稿をいただくことである。全ての人に400～800字程度の投稿をお願いしたい。（その内容については「発刊のことば」に書いてある。）

ご承知のとおり、大学の総合移転整備事業（11万坪の矢巾キャンパスを含む。）、薬学部設置、学生寮建設、医学部学生定員増に合わせて基礎医学部門の移転整備、放射線治療施設（リニアック、PET）及び７テスラ MRI 施設の建設開始、７：１看護による看護師増員、間もなく大問題の附属病院移転建設、矢巾キャンパスの緑化運動等々、近年の拡充問題はめまぐるしく進捗している。これらの諸問題の進捗に平行し、或いはそれ以上に学報の任務、使命が大きくなる。

その大きな任務、使命を遂行するよう、職員各位の一層のご努力、ご協力をお願いする次第である。

特集

発刊400号記念特集

大学報編集委員会事務局　企画部企画課

「岩手医大月報」創刊号　～発刊のことば～

４代学長
篠田　紘

従来も人事異動その他に関する月報は出してはいたが、それは謄写版刷一枚の至極簡単なもので而も全く無味乾燥のものに過ぎなかった。医大の整備拡充が計画されてから早や三年を経過し、予定の建築や内部改造も本年十二月には一応完成し、その間の内部機構も益々拡大され、人員の配置や運営の面でも従来よりはかなり変化し、複雑になって来た。そのために**各部局の縦の連絡を一層完全にする他に、お互いの横の連絡を益々緊密にする**必要を感ずるようになってきた。

ことに本学のような学校と病院とが一体となって、而も現場的職域に勤務しているものが大勢いる病院では、縦横の連絡を緊密にしないと、事務や現場の仕事が不完全になる惧れが多い。また全職員が一堂に集まって話し合うことも不可能の運命にある現状であるから、お互いの意志の疎通や連絡を図ることも極めて困難である。

いろいろの会議で代表者が話し合うだけでは、全員にその結果なり、意思なりが徹底しないことが多い。だから、その時々の通達の他に、これを印刷して各自に配布した方が周知は確実である。またこの月報には大学全般にわたる事項、例えば理事会教授会の決定事項から、組合との交渉結果とか、学長の考え方や希望事項などの他に、各教室各職場における主要な異動や希望や意見も掲げ、**各職員から研究室と病院の運営についての建設的の意見なども投稿してもらい更に随想、歌、俳句、川柳、一口ばなし、なども加えてなごやかな情操をも養いながら、本学の改善と発展に寄与したい**と考えている。編集発行は企画室でやることになっているから、どしどし投稿して頂き、この月報が皆から愛読されて、その使命を全うするように念願する次第である。　（昭和34年６月５日）

岩手医科大学報が発行されるまで

① 大学報編集小委員会

担当の編集委員と編集委員会事務局による編集日程・掲載内容の打ち合わせ。（編集委員は３名ずつ６グループ構成）

② 大学報編集委員会

編集委員長（理事長）を含む全編集委員が集まる委員会。担当の編集委員より編集小委員会で話し合われた編集日程・掲載内容の報告があり、審議の上、承認される。

③ 原稿依頼・取材活動

巻頭言、特集、職場紹介、教職員レター等の原稿依頼、表紙写真やトピックスの撮影や取材活動を行う。必要に応じて、画像情報センターの協力を得て撮影活動を行う。

④ 原稿作成・入稿

執筆して頂いた原稿、取材活動で得られた情報を基に、原稿の作成を行う。取りまとめた原稿、写真を印刷会社に入稿（依頼：河北印刷株式会社）。

大学報編集小委員会

表紙写真撮影風景（画像情報センター）

原稿のレイアウト等を印刷会社担当者と確認しながら原稿の入稿

⑤　初校完成・校正依頼、編集作業

初校が完成次第、執筆者への校正依頼を行う。内校正（誤字、脱字のチェック等）、執筆者からの校正を基に、編集作業を行う。終了後、再入稿。

⑥　２校完成、大学報編集小委員会

出来上がった２校を基に、担当の編集委員と掲載内容の確認。編集委員が順番に編集後記を執筆。小委員会の内容、編集後記を取りまとめて再入稿。

⑦　３校完成、大学報編集委員会

出来上がった３校を全編集委員に配布し、編集委員会にて掲載内容の最終確認を行う。

⑧　最終修正・校正

編集委員会の内容を取りまとめて修正・校正し、最終入稿。

⑨　校了・印刷

４校を最終確認し、問題がなければ校了の連絡。連絡を受けた印刷会社は印刷を開始。

⑩　納品・配布

納品された学報を学内・学外（本学名誉教授・圭陵会各支部・他大学等）に配布。

大学報編集委員会

印刷物折り機

今後の展望　～毎月発行へ向けて～

現在、２月、４月、６月、８月、10月、12月の年６回発行していますが、情報伝達を迅速かつ柔軟に行えるよう来年４月（予定）から毎月発行を予定しています。また、本学ホームページに過去の大学報（359号～）を掲載し、自由に閲覧出来るようにしています（下記参照）。それ以前の大学報（月報）についても、製本し保管していますので、閲覧希望の際は企画課までご連絡ください。

今後も、本学発展の一助となるような大学報作りを目指して編集委員一同頑張ってまいりますので、みなさんからのご意見、ご寄稿、随想、俳句、一口ばなし等心よりお待ちしています。

岩手医科大学ホームページでも、過去の大学報を閲覧できます。
＜　http://www.iwate-med.ac.jp/gakuhou/top.html　＞

岩手医科大学報編集委員会

平成21年９月１日現在

委員長	大堀　勉	（理事長）
副委員長	山崎　健	（整形外科学講座）
〃	影山　雄太	（経理課）
委員	齋野　朝幸	（解剖学講座(細胞生物学分野)）
〃	寺田林太郎	（歯科保存学第一講座）
〃	中島　薫	（歯科保存学第一講座）
〃	藤本　康之	（分子生物薬学講座）
〃	松政　正俊	（生物学科）
〃	小山　薫	（人間科学科（体育学分野））
〃	佐々木志津子	（看護部）
〃	佐々木光政	（看護部）
〃	及川　弘美	（歯科衛生部）
〃	佐々木さき子	（中央臨床検査部）
〃	澤村　邦子	（薬剤部）
〃	佐々木忠司	（中央放射線部）
〃	中島　久雄	（画像情報センター）
〃	岩動美奈子	（栄養部）
〃	武藤千恵子	（研究助成課）
〃	野里三津子	（医事課）
事務局	遠藤　祐一	（企画部）
〃	吉田　博貴	（企画課）
〃	小笠原孝太	（企画課）

★★ 過去にこんな記事がありました ★★

～ 毎月一言 ～　学長　篠田　糺

よい設備、よい先生、よい看護で、正しい診断とよい治療ができるところに大学病院の特徴がある。だからといって患者さんに威張ったり、尊大であったり、不親切であってもよいということにはならない。患者さんは、病院から見ればお客さんであり、沢山来て貰い大いに利用して貰わなければ、よい設備、よい先生、よい看護も宝の持ち腐れとなって衰弱する。だから患者さんに直接接触する職員はもちろんのこと、他の職場で勤務している職員でも、いつも患者さんへのサービス改善について特に留意して、更に利用者が増加するよう努力して、大学発展の基礎を固めたいものである。

（昭和34年６月５日第１号）

～ 病院サービス　「新来受付けで金一封を」 ～

去る７月17日新来受付の係員に、分院に入院している患者さんの家族より感謝の意をこめた金一封を頂戴した旨の報告があり非常な感動に打たれ、早速病院長に報告し係員が喜んで頂戴することとした。係員の話によると、釜石から来られた患者さんが、古い被保険証と紹介状を提示され診察を受けようとしたが、このような場合、事務的には新しい保険証の提示を求めることになる。しかし、紹介状もあるので後日資格の確認をすることとして診察を受けられるよう配慮したのであるが、その際の言葉使いと要領の良い説明に患者さんの胸に強く響き好感が持たれたものと思う。

我々病院に勤務する職員は患者さんやその家族の方々に対し、「言葉使いと態度」の心理的に影響することが極めて大きいことを更に認識し、病院を訪れる方々には常に親切にそして相手の身になって対応し、感謝されるサービスが実現するよう心掛けたいものである。

（昭和37年８月５日第39号）

～ 創立記念日 ～

去る６月18日のことである。荘厳な雰囲気のうちに本学創立40周年記念式典は、つつがなく進行していた。…次から次へと述べられていく祝辞の中で、特に感銘深く鮮やかに脳裏をかすめ去った一節がある。「創立記念日は回顧の日であるとともに反省の日でもあり、また希望の日でもあります。それは単に過去の歴史の終点を意味するものではなく、新しい未来への出発点を意味するものでもあります。」と、噛めば噛みしめるほどに味わいのある名言ではないだろうか、臨席の東北大学総長の祝辞の一節であった。

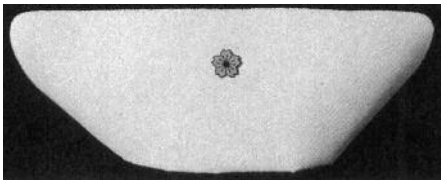
（昭和43年８月30日第93号）

～ 職員の表彰について ～

９月12日午後9時10分頃、盛岡市菜園一丁目の市道で、本学職員人事課軽石強さんは、同市城西町の食料品店経営者が「ドロボー」と叫びながら若い男を追いかけているのに気づき、この男を約300メートル追跡して捕まえ、去る10月13日、警察において表彰された。

（昭和47年11月15日第126号）

～「木の花」の帽章 ～



このたび、岩手医大病院看護婦の帽章を七宝焼に改めることになり、…。この帽章の桜花は、本学の創立者であり、岩手産婆看護婦学校の父とも仰いでおります三田俊次郎先生が、「木花咲耶姫」の故事にもとづいて“木の花”のように、清く美しくあれと、願いをこめられてお定めになられたと、今野八重女婦長さんから伺って、桜の花の別名が“木の花”であることを知りました。今野婦長さん方は、大正の黎明期に看護職の向上を目指して「木の花会」をつくり、後輩の育成に当たられたのも、三田俊次郎先生のご指導があればこそと、改めて先生のご遺徳に深い思いを寄せております。

（昭和60年１月15日第254号）

～ 岩手医大の先生方に感謝 ～　患者さんからの投書

老生近来難病のため、他の医院より貴病院に転院、泌尿器科・整形外科・皮膚科外来に通院にて治療、お陰様で日々安らかに過ごしておる七十余歳になる者です。その間に医療の方は申すまでもなく、担当される事務員の患者への対応が、その処理について、また躾についても的確簡潔で、しかも丁寧で、長い時間イライラして待っての帰りにカードを渡す時、忙しい手と心を患者に向け、「お大事に」とか「お待たせしました」と顔を向けて下さいます。この一言で「ああ今日は良い日だった」と帰路につき、家内に話しております。特に他の病院にない点は、老人扱いに「寿」の記号をつけて下さっている。しかも全科共通性に心を打つものがあったので、一言お礼を申し上げました。よろしくお伝えください。

（昭和60年６月５日第256号）

～　医学部附属病院の履物の取扱いを変更　～

本学医学部附属病院のスリッパに履き替える下足の取扱いについては従前より検討が重ねられてきたが、患者数の増大と共に、スリッパ履きかえの手間と衛生上の不評が高まったこと、並びに外来玄関の下足フロアの混雑がひどくなったため、この度患者サービスの一環として医学部附属病院に限り外来特殊診療室等を除き、外来患者および見舞い客が履物を履きかえなくてもよいことにし、既に６月１日㈪より実施している。外履きによる塵埃については吸塵力の強いマットの敷設、清掃回数の拡大等により、ほぼ除去されており、殆どの来院患者並びに最近往来が増えている外国人からも大変好評を得ている。

（昭和62年７月５日第271号）

～　私の提言　「エレベーターの使用について」　～

日中に見ておりますと、職員の使用がだいぶ多く、しかも低い階でも利用する方が大勢見受けられます。もし職員の使用が減少すれば、若干でも混雑解消につながり、患者さん、外来者へのサービス、職務上必要な職員の待ち時間短縮にもなるのではと思いますが、いかがでしょうか。３・４階ならば歩いても待つより早いぐらいですし、運動不足解消にもなるので一石二鳥にもなるのではと思われます。病院サービス改善と健康のため、階段の利用を提言します。

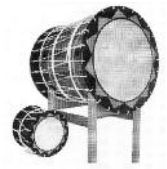
（昭和63年４月25日第275号）

～　Campus Guide 「エレベーター塔」　～

医学部２号館が竣工したのは昭和７年１月のこと。岩手医学専門学校の附属病院として建てられた。鉄筋コンクリート５階建てであったため、昇降機（エレベーター）が備えられた。当時、盛岡市内でエレベーターがあったのは、医専とその後に出来た松屋百貨店（盛岡市肴町、現在はまんぞくや靴店）の二ヶ所だけで、遠方からも患者ならぬ“観者”が訪れ、鉄格子のジャバラ式の扉を手で開閉しては喜んでいたものであったという。

（平成２年６月５日第291号）

～　さんさ踊りの大太鼓を製作　～



本学が盛岡さんさ踊りに参加して今年が15年になるのを記念して、このほど写真のような大太鼓が作成された。この太鼓は直径が４尺（121㎝）、長さが４尺２寸（127㎝）もある大きなもので、太鼓の打ち手は６人であたる予定になっている。８月１日からのさんさ踊り本番では、本学のパレードの先陣を切って勇壮な姿を観客に披露することになる。

（平成８年７月25日第328号）

～　備えあれば憂いなし？　～

１月24日深夜０時10分、記録的な寒さにみまわれたこの夜、歯学部の渡り廊下付近の圧力調整弁から漏れる水蒸気が、あたかもモウモウと煙を上げてビル火災に見えてもなんら不思議はない。歯学部が燃えているとの市民の通報により、事件は起こった。駆け付けた消防車が10台、物々しい緊張感があふれる光景が目に浮かぶ…。

同じ頃、我らが上司は千鳥足でこの光景を目撃していた。彼は部下の一人に電話で「医大が火事だ」と叫んだが、悪戯電話と勘違いした部下は「ふざけるな」の一言であった。上司は受話器の叩きつけられる音で我に帰るとともに、非常事態の対応の難しさに一人思いを馳せ厳寒の中に立ち尽していた。

翌日、部下は上司に昨日の話しをされ顔面蒼白になったが、特に叱責されるわけでもなく平穏な一日を過ごした。ただ、職場の皆で非常時の連絡体制の対応をいつになく真面目に話し合ったという。

危機管理、出来ているようで出来ていない緊急時の対応、Ｙ２Ｋが無事だったからといって安心は出来ない。

貴方の職場は大丈夫？貴方自身は？

（平成12年４月13日第345号）

～　第30回日本私立医科大学協会加盟大学職員野球大会で本学が優勝　～

８月20日㈬、８月22日㈮の２日間にわたり、岩手県営野球場、岩手県営運動公園野球場、滝沢総合公園野球場の３球場で、第30回日本私立医科大学協会加盟大学職員野球大会が開催されました（21日㈭は雨天順延）。

今回は第30回の記念大会で、15年ぶりに岩手での開催となりました。20数年ぶりに出場となる久留米大学を含めた参加15校は、各球場で熱戦を繰り広げ、決勝は地元開催で優勝を目指す本学と久留米大学との対戦になりました。試合は決勝に相応しい息詰まる接戦で、最終回に逆転した本学が２対１で勝利し、３年ぶり７回目の優勝を飾りました。

（平成20年10月29日第394号）

連載

当院認定看護師の紹介(6)

看護部

～皮膚・排泄ケア認定看護師の活動～

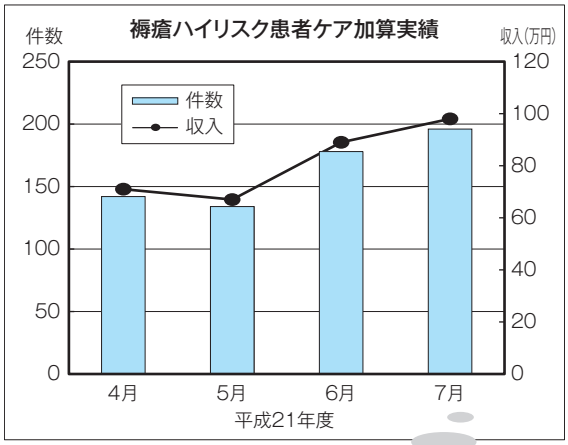
皮膚・排泄ケア認定看護師　千　葉　励　子

私は、皮膚・排泄ケア認定看護師（当時は、WOC 看護認定看護師）として平成18年から活動を開始し、平成19年からは褥瘡管理者の専従として組織横断的な活動をさせていただいております。

院内では、褥瘡管理者としての役割を主軸に活動しております。当院では、褥瘡発生リスクの高い患者さんに対し、予防ケアの充実を図ることを目的に、平成19年から**「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」**を申請しております。しかし、当院のような大規模施設においては、１人の褥瘡管理者の活動のみでは、充実かつ継続した褥瘡ケアの実施は困難です。各病棟の褥瘡リンクナースをはじめとするスタッフの協力が大きな力になっています。**日本褥瘡学会の平成18年の調査では、大学病院の褥瘡推定発生率を0.98%と打ち出しておりますが、平成20年度の当院の褥瘡発生率は0.74%と予防に対する成果にもつながっております。**また、褥瘡対策チームへも所属し、形成外科医師、皮膚科医師、循環器外科医師、薬剤師、栄養士、褥瘡リンクナースと共に毎週水曜日の褥瘡回診を通してより専門的な褥瘡治療を提供しております。

褥瘡ハイリスク患者ケア加算とは……

厚労省が定めた褥瘡ハイリスクの要件に該当する入院患者に対し、専門教育を受けた皮膚・排泄認定看護師が専従の褥瘡管理者として総合的な褥瘡対策とケアを実施することで、1入院につき1回500点が加算されること。



微力ながらも診療報酬に貢献

その他の重要な院内活動としては、毎週月曜日の外科外来での「ストーマ外来」、毎月第４火曜日の小児外科外来での「WOC 外来」を担当させていただき、QOL の向上につながる質の高いケアの提供を目指して奮闘しております。さらに、認定看護師として「実践」「指導」「コンサルテーション」の３つの役割を活かし、看護師、医師からのストーマ、創傷、失禁に関連したスキンケアの依頼を受けてケアを実践する他、褥瘡リンクナース研修や新人研修、認定看護師会主催の研修など、教育活動へも参画することで、皮膚・排泄ケア領域のケア技術の向上に努めております。これまでは、当院の皮膚・排泄ケア認定看護師は私だけでしたが、今年度から新たに２名の仲間が誕生し、さらに充実した活動につなげるべく、とても心強く感じているところです。

院外では、岩手県看護協会主催の研修会、メーカー主催のセミナー、他施設での研修会などで講師を務めると共に、関連学会や研究会への参加や運営に携わることで、自己研鑽を重ねております。

看護の基本ともいうべき、皮膚・排泄のケアを通して、今後も患者さんの満足が得られるようなケアの提供と看護の質向上に努めてまいりたいと思いますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

★　こんな活動もしています　★

褥瘡リンクナース研修会：各病棟の成果を発表

新人研修：「褥瘡・創傷ケア」の講義

新人研修：フィルム材の剥がし方を演習

総合移転整備事業募金のご案内

■募　金　名　**岩手医科大学総合移転整備事業募金**

■募金目標額　総　　額（第二次事業費）160億円
当初５ヵ年の目標額　　40億円（平成21年６月～平成26年５月）

■募 集 期 間　平成21年６月～平成26年５月

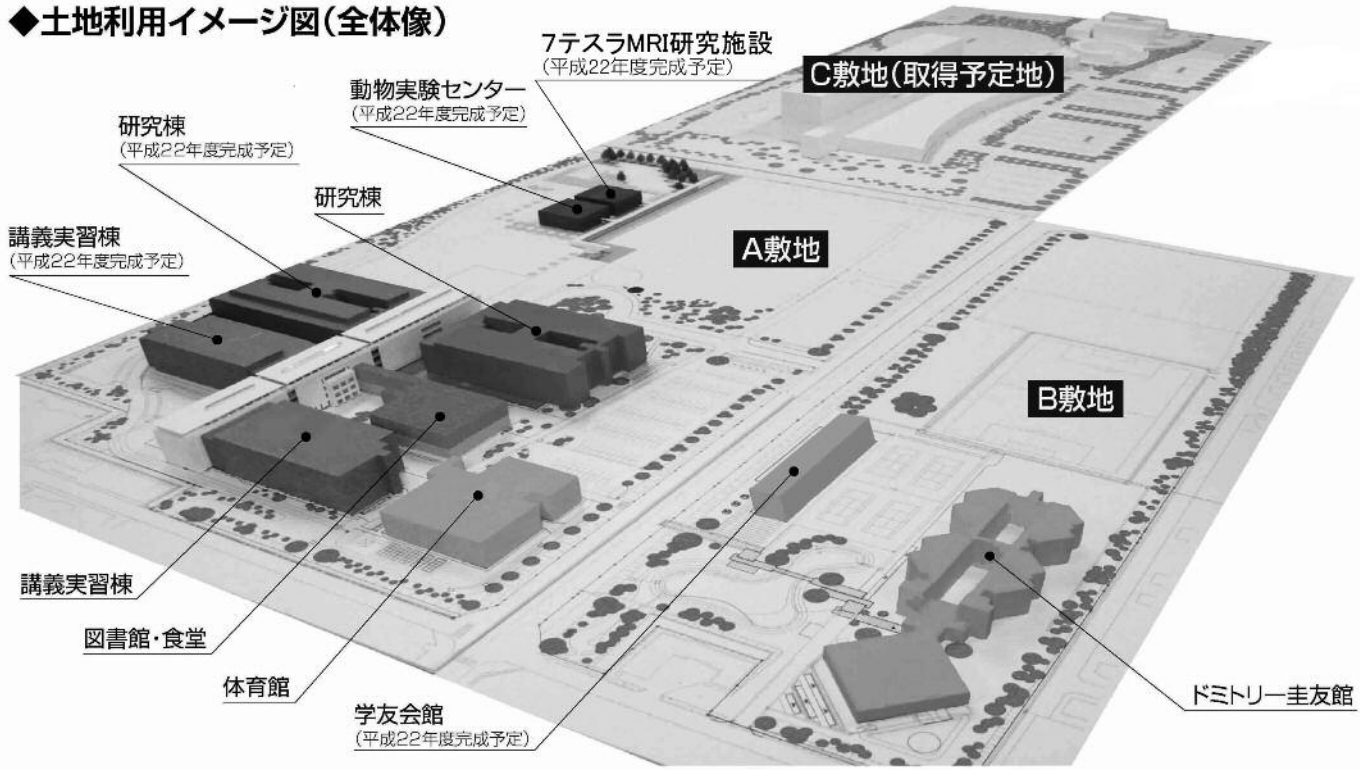
■口　　数　個人：一口１万円　　法人：一口10万円
（できましたら十口以上のご協力を賜りますようお願いいたします。 また、口数を問わず、ご寄付はありがたくお受けいたします。）

■事 業 予 定　平成21年８月～事業完了の目標年

■総 事 業 費　総　　額　約560億円（第二次、第三次事業に要する事業費）

■敷 地 面 積　総敷地面積　362,000㎡（約11万坪）
Ａ敷地－学校施設・研究施設建設エリア　121,000㎡（約３万７千坪）
Ｂ敷地－学校福利厚生施設建設エリア　61,000㎡（約１万９千坪）
Ｃ敷地－病院・医療関連施設等建設エリア　180,000㎡（約５万４千坪）

◆土地利用イメージ図（全体像）



― 総合移転整備計画第二次事業の基本計画（平成21年７月１日現在）―

岩手医科大学総合移転整備計画第二次事業は、**医学部・歯学部の基礎部門及び共同研究部門の移転整備**を基本計画とし、**平成23年３月**までの事業完了を目指しています。

学生教育環境整備では、本学の目指す**三学部の堅固な連携体制**に向けて、緑あふれる矢巾キャンパスに**医学部及び歯学部４年生までの収容校舎**を建築します。また**学友会館（学生クラブハウス）**を建設し、課外活動を支援します。**研究環境整備**では、**動物実験センター**を移転整備します。

～創立100周年に向かって～

税制面の優遇措置について

○個人としてご寄付をいただいた場合（特定公益増進法人に対する寄付金）

免税額（還付金額） ＝ （・寄付金額 ／ ・総所得額の40%）いずれか少ない金額 －5,000円 × 税　率

＜参考＞　課税所得金額500万円の方が10万円寄付された場合
免税額（還付金額）＝（100,000円－5,000円）×20%＝19,000円
※なお、所得額に応じて税率が変わりますので、参考としてお取扱い下さい。

個人として本事業募金にご寄付をした場合は、**「特定公益増進法人に対する寄付金」**として取り扱われます。寄付をした翌年の確定申告で所得控除手続を行なうことにより、寄付金の年額が5,000円を超えた金額について、当該年の課税所得金額から控除されます。**ただし、所得控除額の限度額は年間総所得額等の40%までとなっています**。

○法人としてご寄付いただいた場合（受配者指定寄付金としてのご寄付）

受配者指定寄付金制度は、法人を対象にした優遇措置です。本法人にお振込み頂いた寄付金は、一旦、日本私立学校振興・共済事業団に送金し、後日、本法人の寄付金として配布されます。各事業年度において所得金額の計算上**「全額損金扱い」**となるため、企業法人にとって最も有利な税の優遇制度です

寄付者銘板について

～皆様のご厚志は、
岩手医科大学の歴史にその名を刻みます～

○寄付者銘板のご案内

本事業募金にご寄附された皆様に感謝し、「総合移転整備事業寄付者銘板（仮称）」に御芳名を掲げ、本学の歴史に末永く顕彰させていただきます。

なお、寄付金のお申込書にご記入されたお名前が銘板に掲げられますので、お申し込みの際はご留意ください。

銘板イメージ

○お名前のご紹介について

一口以上のご寄付をされた皆様には、「岩手医科大学報」「総合移転整備事業記念刊行物（仮称）」「本学ホームページ」などで御芳名を紹介させていただきます。また、記念式典、刊行物のご案内をさせていただきます。

岩手医科大学報

お問い合わせ先
企画部企画課（創立60周年記念館10階）
電話：019-651-5111（内線7022、7023）　E-mail：kikaku@j.iwate-med.ac.jp

表 彰 の 栄 誉

岩手医大眼球銀行が第１回今泉賞を受賞

賞状を受け取る黒坂教授（写真左）

平成21年７月24日㈮、東京国際フォーラムにおいて、第１回今泉賞の授賞式が行われ、㈶アイバンク協会の所敬（トコロ　タカシ）理事長より本学眼科学講座の黒坂教授へ賞状・賞金・副賞が授与されました。

本賞は、本学の今泉亀撤名誉教授が㈶日本アイバンク協会に第一生命保健文化賞の賞金を寄付され、それを基に、協会が角膜移植医療やアイバンク活動に貢献された団体・個人を顕彰するために設けられたものです。

一人でも多くの方の光を取り戻せるよう、今後益々のアイバンク活動の推進が期待されます。

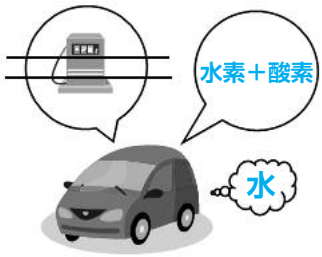
省エネ推進委員会だより

今回はこれから期待されている『新エネルギー』についてご紹介します。

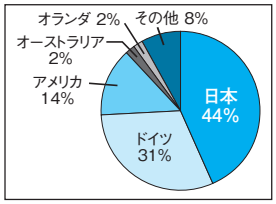
「新エネルギー」とは

新エネルギーとは新しく発見されたり、技術進歩により見直されるようになったエネルギー資源で資源エネルギー庁が定義しているものを言います。技術的には実用段階に到達しつつありますが、経済面などの制約から普及が十分でないもので、おもに太陽光発電や風力発電、バイオマス発電、燃料電池などがあげられ将来最も期待されているエネルギーです。

今回はその中から、「太陽光発電」と「風力発電」について、ご紹介してみたいと思います。どちらも発電量が自然条件に左右される等の課題を抱えていますが、CO_2を排出しない環境に優しいエネルギーということで、積極的な開発や導入が望まれています。



燃料電池車

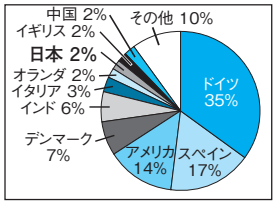


太陽光発電導入率（H18）

太陽光発電

太陽光発電は現在、世界で日本が最も多く導入しています。特徴は、枯渇せず、どこでも利用が可能、エネルギーコストがかからない点があげられます。

問題は、発電量が不安定で効率が悪い、コストダウンが難しい、広い設置場所が必要なことがあげられます。しかし、今後技術開発が進めば大変有効なエネルギーと言えます。



風力発電導入率（H18）

風力発電

風力発電はドイツ、スペインなどが積極的に使用しています。日本は世界で見ると僅か２％程の導入率ですが、環境省や経産省等が主体となり導入を進めています。特徴は枯渇せず、どこでも設置が可能で、エネルギーコストがかからない点があげられます。

問題は風に左右されること、騒音の発生や景観を損なうことなどがあげられますが、これらは海上に設置することで解決できると言われています。これも太陽光発電と同様に将来有望なエネルギーとして期待されています。

今回は新エネルギーについて紹介しましたが、これからは省エネに心掛けると共に、自然を壊さないエネルギーを作り、利用しながら自然と共存する社会が求められています。

平成22年度 岩手医科大学 入学試験日程

医学部	推薦入学試験		一般入学試験	
	地域枠特別推薦	一般推薦	一次試験	二次試験
募集人員	15名	20名程度	75名	
出願期間（消印有効）	平成21年10月26日(月)～平成21年11月５日(木)		平成21年12月７日(月)～平成22年１月６日(水)	
試験期日	平成21年11月14日(土)		平成22年１月20日(水)	平成22年２月３日(水)
試験場	岩手医科大学矢巾キャンパス		盛岡・東京・大阪・札幌	盛岡・東京
試験方法	書類審査・小論文・面接 適性検査・基礎学力試験		学科試験(外国語・数学・理科2科目) 小論文・適性検査	面接
合格者発表日	平成21年11月20日(金)		平成22年１月27日(水)	平成22年２月６日(土)

歯学部	推薦入学試験				一般入学試験	
	一般推薦(前期)	指定校	同窓生子女	一般推薦（後期）	前期	後期
募集人員	35名程度			５名	25名	５名
出願期間（消印有効）	平成21年10月26日(月)～ 平成21年11月５日(木)			平成22年２月１日(月)～ 平成22年２月27日(土)	平成21年12月21日(月)～ 平成22年１月19日(火)	平成22年２月１日(月)～ 平成22年２月27日(土)
試験期日	平成21年11月14日(土)			平成22年３月５日(金)	平成22年１月29日(金)	平成22年３月５日(金)
試験場	岩手医科大学矢巾キャンパス			岩手医科大学内丸キャンパス	盛岡・東京・大阪・福岡・仙台	盛岡・東京
試験方法	書類審査・小論文・面接				学科試験（外国語・数学・理科１科目・国語のうちから３教科を選択）・面接・調査書	
合格者発表日	平成21年11月20日(金)			平成22年３月９日(火)	平成22年２月６日(土)	平成22年３月９日(火)

薬学部	推薦入学試験						一般入学試験	
	一般推薦(前期)	指定校	同窓生子女	帰国子女	社会人	一般推薦（後期）	前期	後期
募集人員	75名程度					若干名	75名	５名
出願期間（消印有効）	平成21年10月26日(月)～平成21年11月５日(木)					平成22年２月１日(月)～ 平成22年２月27日(土)	平成21年12月21日(月)～ 平成22年１月19日(火)	平成22年２月１日(月)～ 平成22年２月27日(土)
試験期日	平成21年11月14日(土)					平成22年３月５日(金)	平成22年１月29日(金)	平成22年３月５日(金)
試験場	岩手医科大学矢巾キャンパス					岩手医科大学 内丸キャンパス	盛岡・東京・大阪・札幌・仙台・秋田・青森	盛岡・東京
試験方法	書類審査・小論文または化学Ⅰ（同窓生子女・帰国子女・社会人は化学Ⅰに限る）・面接						学科試験(外国語・数学・理科１科目)	
合格者発表日	平成21年11月20日(金)					平成22年３月９日(火)	平成22年２月６日(土)	平成22年３月９日(火)

歯科衛生専門学校	推薦入学試験	一般入学試験		社会人入学試験	
		一期試験	二期試験	一期試験	二期試験
募集人員	40名程度				
出願期間（必着）	平成21年10月１日(木)～ 平成21年10月22日(木)	平成21年12月22日(火)～ 平成22年１月21日(木)	平成22年２月16日(火)～ 平成22年３月２日(火)	平成21年10月１日(木)～ 平成21年10月22日(木)	平成21年12月22日(火)～ 平成22年１月21日(木)
試験期日	平成21年10月24日(土)	平成22年１月23日(土)	平成22年３月４日(木)	平成21年10月24日(土)	平成22年１月23日(土)
試験場	岩手医科大学歯科衛生専門学校				
試験方法	基礎学力考査（現代文・小論文（作文））・面接	学科試験（現代文・小論文（作文））・面接		学科試験（現代文・小論文（作文））・面接	
合格者発表日	平成21年10月29日(木)	平成22年１月28日(木)	平成22年３月９日(火)	平成21年10月29日(木)	平成22年１月28日(木)

※お問い合わせは、歯科衛生専門学校事務室まで（019－651－5118）

歯科技工専門学校	推薦入学試験	一般入学試験	
		一期試験	二期試験
募集人員	25名		
出願期間（必着）	平成21年10月20日(火)～ 平成21年11月20日(金)	平成21年12月21日(月)～ 平成22年１月22日(金)	平成22年２月23日(火)～ 平成22年３月９日(火)
試験期日	平成21年11月21日(土)	平成22年１月23日(土)	平成22年３月10日(水)
試験場	岩手医科大学歯科技工専門学校（岩手医科大学歯学部内）		
試験方法	適性・ワイヤー工作・模型彫刻・基礎学力考査・面接		
合格者発表日	平成21年11月27日(金)	平成22年１月29日(金)	平成22年３月15日(月)

※お問い合わせは、歯科技工専門学校事務室まで（内線4128）

Topics

●「盛岡さんさ踊り」に参加しました

日本一の太鼓パレードと称される「盛岡さんさ踊り」が８月１日㈯から４日間にわたり開催され、本学グループが初日のパレードに参加しました。

当日は、本学附属病院外来玄関前での出陣式の後、パレードの出発地点に向かいました。

18時24分出発のパレードでは、大堀理事長を筆頭に総勢約210名が中央通りの約１キロの区間を練り歩き、昨年に引き続き盛岡さんさ踊りの第４の踊り「福呼（ふっこ）踊り」を披露し、沿道に詰め掛けた観客や大学関係者からの歓声に応えていました。

なお本学の出場は、今年で連続28回目となります。

● ７テスラ MRI 研究施設新築工事の地鎮祭が行なわれる

平成21年８月４日㈫午前11時から矢巾キャンパスA敷地内において、７テスラMRI 研究施設新築工事の地鎮祭が執り行われ、大堀理事長、小川学長ら本学関係者と工事関係者合わせて約40名が出席しました。

神職による神事では、大堀理事長による鍬入れや玉串奉奠などが行なわれ、工事の無事を祈願しました。

現在、７テスラMRI 装置は世界各国において十数台しか導入されていないことから、世界有数の MRI 研究施設が本学に整備されることになります。将来的に本研究施設は、脳卒中や認知症などの脳神経疾患や、うつ病などの精神疾患に対する病態解明に大きく貢献するものとして期待されます。

鍬入れをする大堀理事長

７テスラMRI 研究施設イメージ図

●2009オープンキャンパスが行われる

眼科模擬手術の様子

８月８日㈯、９日㈰の両日、矢巾キャンパスおよび内丸キャンパスにおいて2009オープンキャンパスが開催され、岩手県内をはじめ全国各地から高校生および保護者など合わせて約600人が参加しました。

当日は、小川学長による大学紹介、希望する学部に分かれてのミニ講義や体験実習が行われました。また、学食の無料体験、在学生とのフリートーク、教員による個別相談やキャンパス・学生寮の見学など盛りだくさんの企画が用意され好評を博しました。

白衣に袖を通し実際に手術などの模擬体験をした高校生らは、大学での学生生活に夢や希望を膨らませていた様子で、本学の特色を理解してもらうとともに、将来の進路を決めるための有意義な機会となったようです。

●第30回岩手医科大学市民公開講座が行われる

関心の高さをうかがわせる満員の会場

今年で30回目を迎えた市民公開講座（健康講座・教養講座）が８月17日㈪から21日㈮までの５日間、矢巾キャンパス講義室にて行なわれました。この市民公開講座は、大学開放活動の一環として行われているもので、健康管理に関する知識と生活の向上に資することを目的としています。公開講座は10講座開設され、22歳から87歳までの延べ961名の受講者がありました。

健康講座は、「糖尿病にならないための生活習慣と、なってからの治療」「ドライマウスは様々な病気の危険信号」「老化とアルツハイマー病」「脳卒中の予防と治療－健康に長生きするために－」「よい噛み合わせが招く健康長寿」の５講座が行われました。教養講座は、「運動を中心とした生活習慣の改善が肥満の予防や解消に及ぼす効果」「クリティカル・シンキング入門」「薬はなぜ効くか」「コミュニケーション－生物学から考える－」「国際化の時代における英語教育」の５講座が行われました。

参加者はメモを取りながら熱心に受講され、毎日の健康と生活について貴重な学習の機会となったようです。

●第31回日本私立医科大学協会加盟大学職員野球大会で準優勝

準優勝に輝いた本学職員野球部

８月19日㈬、20日㈭の２日間にわたり、東京都江東区夢の島公園野球場で、第31回日本私立医科大学協会加盟大学職員野球大会が開催され、本学が５回目の準優勝に輝きました（優勝は過去４回）。

当日は晴天の中、参加16校が熱戦を繰り広げ、昨年優勝の本学は初戦慶応義塾大学、二回戦杏林大学、準決勝埼玉医科大学と投打がかみ合い勝利を収め決勝に進出しました。

決勝は、昨年と同カードの久留米大学戦。昨年本学に敗れている久留米大学は、リベンジとばかりに試合前から並々ならぬ闘志で本学に向かってきました。本学もケガ人が続出するなか負けじと立ち向かいましたが、終始試合を優位に進めた久留米大学に２対０で敗れました。

なお、今大会の敢闘賞に、歯科医療センター事務室の内坪寿真さんが選ばれました。

●「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」事業 第３回学長・学部長会議及び実施担当者会議が行われる

文部科学省の戦略的大学連携支援事業に採択された「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」事業は、福岡歯科大学を代表校として、北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学、神奈川歯科大学、鶴見大学、九州歯科大学、福岡大学の全国８大学が連携して事業に取り組んでいます。

当該事業の「第３回学長・学部長会議及び実施担当者会議」が９月５日㈯、本学内丸キャンパス・創立60周年記念館10階会議室において開催されました。

当日は、①口腔医学カリキュラム作成の取組み、②平成21年度 FD 研修、③平成21年度 SD 研修、④平成21年度海外視察、⑤平成21年度及び平成22年度各会議の開催予定、⑥ TV 授業システム等についての報告及び協議が行われました。

●病院対抗球技大会でソフトボールチームが連覇

９月６日㈰、盛岡地区27病院による第35回盛岡地区病院対抗球技大会が盛岡市立高校で開催され、本学からはソフトボール、バレーボール、卓球の３種目に参加しました。

本学は強豪チームとして各病院から厳しいマークを受ける中での試合となりましたが、選手たちは日頃の練習の成果を思う存分発揮し、ソフトボールチームが連覇、バレーボールチームが準優勝という輝かしい成績を収めました。また会場には、たくさんの本学教職員が応援につめかけ、熱戦を繰り広げる選手達に声援を送っていました。

連覇を果たしたソフトボールチーム

準優勝のバレーボールチーム

●歯科衛生専門学校で戴帽式が行われる

10月3日㈯午前11時から本学歯科衛生専門学校４階講堂で平成21年度の戴帽式が行われました。戴帽式は、これから１年生が臨床実習を行うにあたり、医療人としての心構えや責任感を自覚し決意を新たにするもので、今年度は40名が式に臨みました。

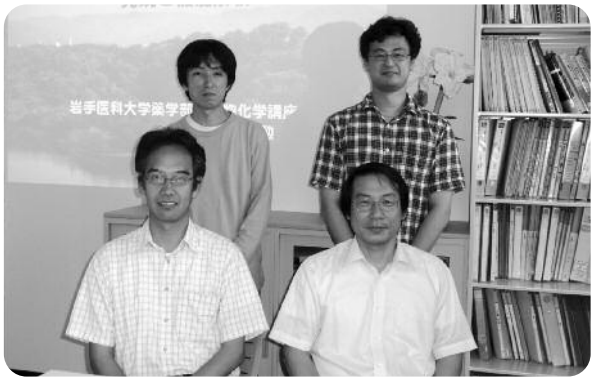
式では、戴帽生の呼名に続き、教務主任から一人ひとりにキャップがのせられ、檀上の戴帽生全員で誓いのことばが唱和されました。厳かな空気が満ちる中、戴帽生を代表して葛巻望さんが謝辞を述べ、新たな決意を胸に歯科衛生士への第一歩を踏み出すことを誓いました。

シリーズ 職場めぐり No.58

天然物化学講座

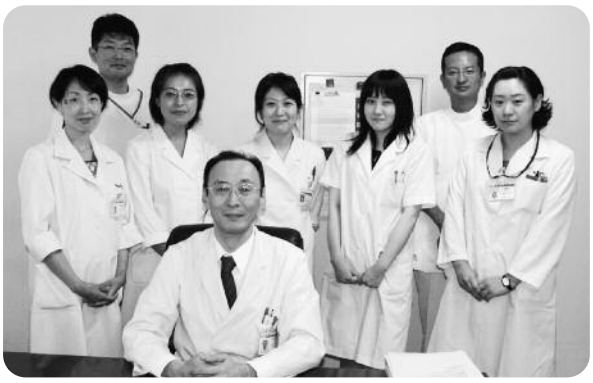
洋の東西を問わず古代より薬草は病気の治療に用いられ、また、ペニシリンの発見は20世紀最大の発見の一つと言われています。現在でも医薬品の多くは、微生物や植物が産み出す天然有機化合物（天然物）であり、医薬および医薬資源として天然物はますます重要となっています。天然物化学講座では、微生物や植物が化合物を作り出す生合成の仕組みを明らかにすること、さらに生物の有する化合物生産能力を能動的に利用した「生物合成」の新しい方法論の確立を目指して研究を進めています。その基盤は有機化学ですが、生化学や分子生物学の手法も駆使して総合的に研究を展開しています。特に近年のゲノム解析の急速な進展に伴い、微生物、植物においても、これまで隠されていた化合物生産に関わる機能未知の遺伝子が多数存在することが明らかになってきました。生物の有するこの多彩な物質生産遺伝子資源を創薬に生かすという目標に向かってスタッフ４人（藤井、林、浅野、橋元）で頑張っております。

（教授　藤井　　勲）



言語聴覚室

言語聴覚室は、「内耳機能検査室」と「心理言語診療室」のうちの「言語治療室」が、平成19年４月に合併してできました。聞き覚えのない方もいらっしゃるかと思いますが、内線では「聴検室です」と名乗っています。



主な業務としては、午前は聴力検査、平衡機能検査（めまいの検査）、午後は特殊外来（中耳炎外来、小児難聴外来、補聴器外来）と人間ドックの聴力検査、また失語、嚥下等のリハビリです。人工内耳についても近々始める予定でおります。

窓口は耳鼻咽喉科外来となっており、いったん耳鼻科を受診して頂いた上で検査・リハビリを行うという方式をとっております。

現在は、耳鼻咽喉科佐藤宏昭教授のもと、言語聴覚士３名と事務員１名が所属しています。言語聴覚治療室専任者の退職に伴い、４月からは言語聴覚室（聴力検査室）にて分担して業務にあたっております。対象となる患者さんの年齢層や疾患が様々であることから、スタッフ間で情報を共有し合い、より良い検査・リハビリとなるよう取り組んでいます。

（言語聴覚士　三上　愛佳）

看護部（循環器医療センター７階）

循環器医療センター７階は病床数47床で、病棟看護師27名と循環器外来看護師４名、看護補助１名の計32名で看護を行っています。

入院患者さんの主な疾患は、虚血性心疾患や大血管疾患、弁膜症、不整脈、心不全などがあげられます。治療は、内科的薬物療法や経皮的冠動脈形成術であり、不整脈疾患の患者さんに対しては、ペースメーカー植え込み術や、植え込み型除細動といった外科的治療も行っています。

平成20年度の平均在院日数は9.7日、平均病床利用率は約89％で、経皮的冠動脈形成術後の再狭窄評価で６ヶ月後に心臓カテーテル検査を行うため再入院の患者さんが多いことも特徴としてあげられます。

患者さんの多くは、死と直結する疾患を生涯にわたりコントロールしなければならず、精神的援助が必要となります。そのため検査や手術前後の不安の軽減とともに、苦痛の緩和や合併症の予防に努めています。また、リスクファクター是正のため、生活習慣の改善に向けて家族を含めた生活指導が重要となり、患者指導係りが中心となりメタボリック症候群をもつ患者さんの食事療法や運動療法等の生活指導にスタッフ一同で取り組んでいます。

（主任看護師　小笠原れい子）

歯学部講座　再編について

歯学部の更なる充実・発展を期するために、平成21年10月１日より歯学部基礎・臨床の講座を機能的かつ有機的に統合・再編し、構成員の潜在力を活用し協力し合うことで歯学部が一丸となり、大学の基本方針である医歯薬連携に沿って魅力ある学部作りを行います。

１．講座再編による名称変更について

再　編　前	再　編　後	
	講　座　名	分　野　名
口腔解剖学第一講座	口腔機能構造学講座	口腔解剖学分野
口腔解剖学第二講座		口腔組織学分野
口腔生理学講座		口腔生理学分野
口腔生化学講座		口腔生化学遺伝学分野
口腔病理学講座	口腔病因病態制御学講座	口腔病理学分野
口腔微生物学講座		口腔微生物学免疫学分野
歯科薬理学講座		歯科薬理学分野
歯科理工学講座		歯科医療工学分野
歯科保存学第一講座	口腔機能保存学講座	歯内療法学分野
歯科保存学第二講座		歯周病学分野
歯科補綴学第一講座	歯科補綴学講座	有床義歯補綴学分野
歯科補綴学第二講座		冠橋義歯補綴学分野
口腔インプラント学科		口腔インプラント学分野
口腔外科学第一講座	口腔外科学講座	顎口腔外科学分野
口腔外科学第二講座		歯科口腔外科学分野
歯科麻酔学講座		歯科麻酔学分野
予防歯科学講座	口腔保健育成学講座	口腔保健学分野
歯科矯正学講座		歯科矯正学分野
小児歯科学講座		小児歯科学分野
総合歯科臨床教育センター	総合歯科学講座	総合歯科教育学分野
歯科保存学第一講座		保存修復学分野
歯科放射線学講座		歯科放射線学分野
歯科内科学科		歯科内科学分野
障害者歯科診療センター		障害者歯科学分野

これに伴い、教員の呼称は次のとおりとする。

例）口腔機能構造学講座教授
必要に応じて、口腔機能構造学講座（口腔解剖学分野）教授

２．講座再編に伴う取扱について

１）講座に代表者を置く。講座の代表者は教授の兼務とし、当該分野の教授から選任する。
（選考方法、任期等は別に定める）

２）年度途中から講座再編を実施するため、本年度の対応は、講義、実習及び印刷物等で講座名が既に表示されているものは再編後の名称に読み替えるものとし、実施が可能なものから順次再編後の名称への変更を行うこととする。

インフルエンザ対策に伴うお知らせ

新型インフルエンザの流行が本格的となるなか、インフルエンザによる発熱の患者が急激に増加し、一般的な病気の治療にまで影響しかねない状況が心配されています。

当院では、新型インフルエンザの流行という非常事態に際し、特定機能病院として通常の病気に対する医療の提供を遺漏無く続けるため、高度医療を提供する病院機能の維持を第一目標に掲げ、できる限りの対策をとることにしています。

つきましては、下記のとおり実施させていただきますのでご協力をお願いします。

実施内容

1．面会制限

- 入院に関する手続きあるいは病状説明・手術前後など、特段の用向きの無い面会（入院病棟への立ち入り）は全面的に制限させていただきます。特に学齢期（18歳未満）のお子様を連れての面会はご遠慮ください。
- 生活用品のお届けなど、特に必要な面会の場合は入院病棟の看護師詰め所に電話等でご連絡いただき、あらかじめ許可を得てご入館ください。
- 遠方からのご来院など、わざわざお出でいただいた場合であっても、ご面会をご遠慮いただく場合があります。

2．患者および面会者の出入り口の制限

- 附属病院……外来正面玄関
- 歯科医療センター……正面玄関
- 循環器医療センター……正面玄関

※救急センター入り口は救急車等による患者搬送の場合を除き、原則として正面玄関を使用していただきます。なお、休日及び夜間の受診についてはこれまで通りとします。

開 始 日

- 平成21年９月12日㈯より

※この措置は、新型インフルエンザの流行が終息するか、措置が不要となるまで、当分の間継続されますのでご理解お願いします。

理 事 会 報 告

■７月定例（７月27日開催）

1．教職員の人事について

＜任用＞

薬学部分子細胞薬理学講座教授　弘瀬　雅教

（現信州大学医学部分子薬理学講座准教授）

薬学部薬剤治療学講座嘱託教授　三部　　篤

（現国立成育医療センター研究所薬剤治療研究部実験薬理室室長）

（平成22年４月１日付）

2．腫瘍センター組織規程の一部改正について

センター長を補佐するとともに腫瘍センター各室の横断的な業務を担当するために副センター長を配置することとした。

（施行年月日　平成21年８月１日）

3．資金運用規程の制定について

資金運用の区分、理事長の諮問機関としての資金運用委員会の設置、資金運用の対象、資金運用の制限を規定化した資金運用規程を制定した。

（施行年月日　平成21年８月１日）

4．緑ヶ丘グラウンド土地交換契約の締結について

5．７テスラ MRI 施設の建設業者の選定について

・建築工事　　清水建設㈱

・機械設備工事　㈱朝日工業社

・電気設備工事　㈱興和電設

老い方

薬学部微生物薬品創薬学講座　助教　田中　亜路

月に一度は映画館に映画を観に行くことにしている。先日観たのは『グラン・トリノ』。クリント・イーストウッド監督・主演の作品である。良い映画だった。偏屈な老人ウォルト・コワルスキーを演じるイーストウッドは輝いていた。何の輝きか。スタイルの輝きである。デトロイト近郊で元自動車工としての余生を送っているという設定のウォルトの家には星条旗がはためき、芝は綺麗に刈り取られ、そして黒く輝くビンテージ・カー「グラン・トリノ」がある。そこには一貫した「アメリカ人の男」としてのスタイルがしっかりと根付いているのであった。

しかし、映画はそのスタイルを貫くことをウォルトにさせまいとする。隣の住居にはアジア系の移民が住みつく。移民の少年はアメリカ的スタイルからは最も遠い弱い存在として登場し、ウォルトは彼を「教育」しようとも試みる。だがしかし、彼ら移民との交流のなかで変わっていくのは「アメリカ人の男」たるウォルトなのであった。「アメリカ人の男」という「虚構」に内心では気付いているウォルト。しかし、最後になって、彼は「アメリカ人の男」というスタイルを命をかけて守り抜く。それも自分のためでなく他人のために。

いい映画は必ず心に何かを残す。本作の場合、「老い方」という言葉が私の心の中に残った。何を信じ、どのように日日を過ごすのか。普段は全く考えることのない命題ではあるが、この『グラン・トリノ』はそのような思いを観客に伝えるものであったと思う。クリント・イーストウッドは格好いい。正確に言うのならば、クリント・イーストウッドの老いは人を魅了する。かなうものならば、私にとっては憧れとして彼の老いはあるのである。

『グラン・トリノ』

「いつかそのうち」の楽しみ

歯科衛生部　歯科衛生士　菊池　淑子

就職したばかりの頃、東北新幹線がまだ整備されていなかったにもかかわらず、ふらりと学生時代を過ごした東京へと一人出掛けたものです。20代前半では、連休を利用して北海道や関西方面などへ友人と一緒の旅行や一人旅を楽しむこともありました。旅行雑誌を見ながらあれこれ行く先を決め、時刻表片手に旅程を組むのも楽しみのうちでした。

『さて　どこへ……』

まだ若く、国内旅行ばかりでしたが、時間的・経済的ゆとりが出来たら、海外旅行をしようと思い描いていました。その一番の機会ともいえる新婚旅行を父の闘病で断念した時から、私の「いつかそのうち」は始まりました。

子育てと身内の看護に追われ、気がつくと結婚後16年、所用でさえも仙台以南に行くことはありませんでした。映像で遠くの地の景色や料理を見て思いを馳せるだけで、「いつかそのうち」と発する夫の言葉に賛同することなく、「そうね」と半ばあきらめの返事をするのみになっていました。

とはいうものの、ここ数年は所用で一人上京する機会も何度かあり、行動の広がりで気持に変化が起こってきたのです。さらに、身近な同世代の突然の訃報に触れたことで、「いつか」などとは言ってはいられない、「近いうちに、行けるときに」と思い始めました。

友達とは、「50歳になったら大人の休日倶楽部」を合言葉に話をしていたのですが、今年は体調を崩していない夫の両親に感謝しつつ、まずはこの秋、夫婦で初めて旅行をしようと計画しています。

予定より早めに実現しそうな「いつかそのうち」の旅行は、現在の楽しみであると同時に、「いつか必ず海外旅行」の夢に繋がっています。

岩手医科大学報編集委員会

≪上段左から≫

河北印刷栃内部長　小笠原企画課員　吉田企画課員　遠藤企画部長　寺田委員　齋野委員　佐々木(忠)委員　澤村委員　藤本委員　岩動委員　中島(久)委員

≪下段左から≫

中島(薫)委員　佐々木(志)委員　松政委員　佐々木(光)委員　山崎副委員長　大堀委員長　影山副委員長　武藤委員　野里委員　及川委員　小山委員

すこやか スポット歯学講座 No. 10

小児歯科学講座
講師　齋藤　　亮

「虫歯で子どもを泣かさない」

「虫歯で子どもを泣かさない」とは大人でさえ苦手な歯科治療をしないことではありません。不幸にも虫歯が発生し、進行することで神経の治療といった時間や費用がかかる治療までしなくてすむ対応を小児歯科は行っています。すなわち、大きな虫歯になる前に虫歯予防を含んだ早期の対応があれば、「虫歯で子どもを泣かさない」ということが実践できると考えています。

●早期発見

小さなお子さんはお口の中に異常があってもそれを指摘できません。保護者はお子さんの歯を磨くことはもちろんですが、お口の隅々まで観察してください。歯の生え方、噛み合わせ、歯ぐき、小帯の異常（写真１）など、もし気になることが見つかったら、是非小児歯科を受診なさってください。

写真1　上唇小帯（矢印）の異常

●定期健診

お口に異常が認められても、やがて自然治癒する場合やお子さんの協力度によってすぐに治療対象にならずに、定期的に受診して頂き、慣れた頃に治療を行う場合があります。乳歯のエナメル質表面が脱灰（虫歯の出来はじめで、白くザラザラしている状態）しても、定期的に受診され、フッ素を塗って様子を観ていると、エナメル質の脱灰を止めることができます。また、写真２のように歯の溝が黒くなっていても、定期的に管理を行い、歯磨き指導とフッ素を塗ることで４年たってもほとんど変化しない場合もあります。

初診時　　４年後

写真2

●小児歯科受診の勧め

お子さんが初めて歯科を受診する時期は、１歳６か月の歯科健康診断の時と思われます。多くのお子さんは、問題のないお口をしています。従って、大げさに心配をする必要はないのですが、１歳６か月は離乳期であり、将来しっかり噛んで食事をするという観点から考えると大切な時期です。小児歯科医は適切な離乳食の進め方といったお子さんの食生活全般に関する知識も有しています。できれば、乳歯が生え始めたら１歳６か月まで待たずに是非歯科を受診なさってください。小児歯科医と相談をされ、お子さんの健やかな成長を見守ってあげましょう。

第68回大学報編集委員会
日　　時：平成21年10月14日(水)　午後４時～午後５時
出席委員：大堀委員長、山崎、影山、齋野、寺田、中島(薫)、藤本、松政、小山、佐々木(志)、佐々木(光)、及川、澤村、佐々木(忠)、中島(久)、岩動、武藤、野里
欠席委員：佐々木(さ)

●　編集後記

昭和34年、篠田先生の手により岩手医大月報が発刊されました。

それから50年たった平成21年、海の彼方ではイチローが９年連続200本安打というアメリカ大リーグ新記録を樹立し、大学報は今号で通巻400号を迎えました。並列で述べるのは無理があるでしょうが、いずれの記録も「継続」がキーワードだと思います。

「これからも皆さんに情報を発信し続ける。イチローがヒットを打ち続けるように。」編集委員一同の誓いです。（編集委員　中島　　薫）

岩手医科大学報　第400号
発行年月日　平成21年10月29日
編　　集　岩手医科大学報編集委員会
事務局　企画部　企画課
盛岡市内丸19 - 1
TEL 019-651-5111（内線7022）
FAX 019-624-1231
E-mail:kikaku@j.iwate-med.ac.jp
印　　刷　河北印刷㈱　盛岡市本町通2 - 8 - 7
TEL 019-623-4256
E-mail:office@kahoku-ipm.jp